

近畿農政局長賞

たじり すぎ かい
田尻おお杉の会（大阪府豊能郡能勢町）



簡易郵便局の開設



野菜ソムリエとキャベツ収穫

（概 要）

（１）むらづくりの動機・背景

田尻地区の唯一の金融機関であったＪＡ田尻支店が廃止されることを契機に、地域の住民が自主的・主体的に地域の活性化のために活動を行っていく気運が高まり、団塊世代の約１０人が中心となって地域活性化の組織づくりの検討を始めた。組織の設立に向けて何度も会合を開き、平成１８年１０月に非農家も含めた地域住民の多くが参加した田尻おお杉の会を結成し、平成１９年２月には農業に特化した農事組合法人田尻農産が発足した。農業を通じた活性化は田尻農産が担い、田尻おお杉の会が幅広い地域活性化の活動を行うことで互いの活動が密接に結びついた組織として取り組みを行っている。

（２）むらづくりの内容

- ・地域住民の多くが参加する田尻おお杉の会と農業に特化した農事組合法人田尻農産を設立し効率的な活動を行う。
- ・小学校と連携し、農業者による出前授業や児童の農業体験等により食農教育に取り組む。
- ・地域内の障害者支援施設に対して、農作業体験を通じた交流を呼びかけ、施設と地域の交流を図る。
- ・地域内に直売所を開設するとともに、近隣都市部で販売拠点を開拓するなど地区で生産した農産物の販路の拡大に取り組む。
- ・生活に欠かせないインフラ整備にも取り組み、簡易郵便局の開設を支援。
- ・都市住民向けに体験農園を設置し、多くの体験参加者があり活発な交流を行う。
- ・遊休農地を活用し新規就農希望者の研修の場として提供するなど積極的に農業の新たな担い手育成支援を行う。